

～みんなのこれまでの10年、そしてこれからの10年に向けて～



東京スカイツリー® NEWS RELEASE

TOKYO
SKYTREE



東京
みずまち
TOKYO
mizumachi



<https://www.tokyo-skytree.jp/> <https://www.tokyo-solamachi.jp/>

2022年4月7日

開業10周年記念 東京スカイツリー®特別ライティング のデザインを募集します

応募期間:2022年4月13日(水)～7月31日(日)

東武タワースカイツリー株式会社

東武タワースカイツリーが運営する東京スカイツリー（本社：東京都墨田区）は、2022年5月22日（日）に開業10周年を迎えます。このたび、10周年の感謝の気持ちとともに「みんなのスカイツリー」をテーマに、2022年4月13日（水）より『東京スカイツリー®開業10周年記念 特別ライティング』のデザインを募集します。

10年の中で心に残った思い出、叶えてみたい夢や希望、目標など、皆さんの“これまで”、そして“これからの10年”にまつわる“想い”を込めた「みんなのスカイツリー」をテーマとして、東京スカイツリーのライティングデザインで表現してください。

ご応募いただいた作品は、厳選なる審査を行い、最優秀賞および優秀賞に選考された10作品を、東京スカイツリーの特別ライティングとして2022年10月20日（木）に発表するとともに、「あかりの日」である10月21日（金）から点灯します。

なお、本デザイン募集の企画・実施にあたっては、ライティング照明機器のパートナー企業であるパナソニック株式会社にご協力いただいております。

日本のシンボル、そして世界のランドマークの一つとして、東京の夜を彩る特別ライティングをデザインしてみませんか？

皆さまからの想いのこもった作品をお待ちしております。

詳細は別紙のとおりです。



△東京の夜を彩る東京スカイツリーのライティング

【一般の方のお問い合わせ】

東京スカイツリーコールセンター TEL 0570-55-0634（11:00～19:00）

SHARE MY SKYTREE TOWN

もっともっと、みんなのスカイツリータウンへ。

©TOKYO-SKYTREE

1. 目的

東京スカイツリーと、タワーのある街・東京スカイツリータウン®は、これまで多くのお客さまに支えられ、2022年5月22日（日）、おかげさまで開業10周年を迎えます。

このたび、東京スカイツリータウンの10周年のテーマ『SHARE MY SKYTREE TOWN もっともっと、みんなのスカイツリータウンへ。』にちなんで、皆さまから特別ライティングのデザインを募集いたします。

2. 募集テーマ

『みんなのスカイツリー』

これまでの10年で自分の環境、生活などで心に残る思い出あるいは、
これからの10年に自分で叶えてみたい夢や希望、目標など、
あなたのこれまで、これからの10年にまつわる“想い”を、
スカイツリーのライティングデザインに表現しませんか？

3. 募集期間

2022年4月13日（水）0：00～7月31日（日）23：59

4. 応募資格

日本在住の方 ※未成年の方は保護者の同意を得てご応募ください。

5. 応募方法

東京スカイツリー公式ホームページ内の特設ページ
(<https://www.tokyo-skytree.jp/event/info/light10th>)

から塗り絵イラストをダウンロードいただき、ホームページに掲載するサンプル投稿を参考に、応募方法と応募規約、注意事項等をご確認の上、ご応募ください。

- ①東京スカイツリー公式Twitter（@skytreeofficial）をフォロー
- ②以下A～Dを、指定ハッシュタグ「#スカイツリー10周年ライティング応募」をつけてTwitterで投稿
 - A：デザイン（ぬりえ）※指定塗り絵イラスト使用
 - B：デザインテーマ/コンセプト（テキストで）
 - C：ライティング名称
 - D：ご自身のTwitterユーザー名（@xxxxxxx）

応募の流れ

	<特設ページ開設>
応募受付開始	2022年4月13日（水）
応募締切	2022年7月31日（日）
選定・審査	2022年8月～9月上旬
受賞者決定	2022年9月20日（火）
受賞者発表	2022年10月20日（木） 点灯式を開催
受賞作品点灯	2022年10月21日（金） より点灯

6. 入賞

・最優秀賞 1名

受賞者の発表イベントへのご招待およびご登壇、特別ライティングとして点灯

※最優秀賞受賞者は、2022年10月20日（木）夜の点灯式にご出演いただきます。

副賞：東京スカイツリー入場券（天望デッキ+天望回廊）1組4名様

・優秀賞 9名

特別ライティングとして点灯

副賞：東京スカイツリー入場券（天望デッキ+天望回廊）1組2名様

※すべての受賞作品のデザインの著作権は当社に帰属し、当社の権利のもと点灯します。

7. 受賞の連絡・発表

受賞者には、2022年9月20日（火）までに、東京スカイツリーTwitter公式アカウントから、受賞者のアカウントへのダイレクトメッセージにて、ご連絡します。

また、2022年10月20日（木）夜の点灯式で特別ライティングを発表します。

【主催】 東武タワースカイツリー株式会社

【協賛】 パナソニック株式会社

東京スカイツリー®のライティングの歴史について

1. 東京スカイツリーライティング照明機器の開発

東京スカイツリーのライティングについては、計画当初より、日本の美意識のもと下町の歴史や地域性ととも時代を昇降する計画となるべく、陰影の美しさによって表現されたデザインと合わせて、周辺地域との調和と地球環境に配慮した照明計画であるべきと考えておりました。

2010年3月、東武タワースカイツリーは、パナソニック電工（当時、現在はパナソニック エレクトリックワークス）を東京スカイツリーのライティング照明機器のパートナー企業に決定。東京スカイツリー専用の照明機器の開発に取り組んでまいりました。

そして、2011年6月、ライティング機器の仕様を決定。1,995台の照明機器すべてを、省エネルギーに優れたLED照明機器とし、それらを高速制御するLED演出システムを開発することを発表しました。当時、これほどまで大きな建造物をLED照明機器で演出する技術はなく、かつ、634mという高所における過酷な環境にも耐えることが可能な「耐久性」「安全性」を有する、新しいLED照明機器を開発することとなりました。



△新たに開発された照明機器（2011年当時）

2. 開業以降、東京の夜を彩り続けるライティング

2012年5月22日（火）の開業以降、東京スカイツリーは、東京の夜を彩るライティングを点灯し続けています。開業当初は1,995台の照明機器で、隅田川の水をモチーフとした淡いブルーの光が特徴の「粋^{いき}」、江戸紫をテーマカラーとした「雅^{みやび}」を点灯。

開業3年目の2015年5月には、照明機器を2,075台に増設し、「雅」に動きのある演出を加えました。また、開業5年目の2017年5月には、縁起の良い橘色を基調とした「幟^{のぼり}」が新ライティングとして加わりました。

そして、2020年2月、照明機器を2,362台にまで増設。この増設により、アンテナ設備が設置されたゲイン塔部分がフルカラーで点灯できるようになるとともに、塔体250m付近と150m付近の中間部も連続性のある点灯演出が可能となりました。「粋」「雅」「幟」のすべてのデザインも一新し、さらなる輝きと躍動感あふれる多彩な演出や動きを加えることで、ご覧になれる多くの皆さまの心に残るような印象的なライティングデザインへとリニューアルしました。



△デザインが一新されたライティング「粋」「雅」「幟」



△ゲイン塔頂部での照明機器増設工事

3. ライティングを通じたメッセージの発信

東京スカイツリーは、通常ライティング「粋」「雅」「幟」という1日ごとに交互の点灯されるライティングで、今日に続く明日、明日の先に続く未来を表現するとともに、随所に江戸の原風景を継承するデザインを取り入れることで、タワーに立つ下町の歴史文化を表現してきました。

シーズンごとに特別なデザインのライティングを点灯し、東京の季節を演出したり、東京スカイツリーで実施するイベントに合わせて、イベントの世界観やキャラクターをイメージしたライティングを点灯してきました。

また、3月10日の東京大空襲や3月11日の東日本大震災の日には、追悼や復興の気持ちを込めた特別ライティングを、毎年、点灯するなどしてきました。



△特別ライティング「舞」



△特別ライティング「花火」



△白色のライティング
(3月10日東京大空襲)



△特別ライティング「明花」
(3月11日東日本大震災)

そして—。2020年、世界は大きな危機に包まれました。世界中に拡大した新型コロナウイルス感染症により、世界は一変。人と人との距離が離れ、国と国との行き来も制限され、世界中が分断されていきました。

— 東京スカイツリーには、何ができるのだろうか。 —

「世界は、心を一つにして、この困難に立ち向かわなければならない。」

そんな思いを胸に、2020年3月から、地球をイメージした青色の特別ライティングを点灯するとともに、展望台に「TOGETHER WE CAN ALL WIN!」のメッセージを掲げ、世界に向けて、“この困難を乗り越えよう”というメッセージを発信してきました。



△地球をイメージした青色の特別ライティングとレーザーマッピングによるメッセージ

「光」は、人々の気持ちを前向きにし、明るくしてくれる、そんな不思議な力があります。

東京スカイツリーは、開業以降、実に130種類以上（2022年3月末時点）のライティングを点灯してまいりましたが、これからもライティングという「光」を通じて、世界に向けて、メッセージを発信していきたいと考えています。